

会長のことば

会長 若林 剛

皆さん お元気ですか？

休会が続いて“ロータリー禁断症状”に悩まされている会員も沢山おられると思います。毎週当たり前の様に例会がある「普段通りの日常生活」の有り難さを日々感じています。今年のGWはゴールデンと言うよりもグレー（Gray）ウィークの連休でしたが、自粛を逆手に取り、じっくり腰を落ち着け、普段できないことにチャレンジされた会員も多かったのではないのでしょうか？

緊急事態措置の制限が緩和されるなど例会再開に一步近づいてきました。人間万事塞翁が馬。コロナ禍を乗り越えた先に福が現れるよう頑張っていきましょう！

- ロータリー事務所が新ビルに移転しました。
- 吉田ガバナーからのお知らせです。2500地区として医師会・歯科医師会を通じて13,320個の医療用フェイスシールド寄贈の事業が実施されます。
- ホノルル国際大会の中止を受け、6月20日～26日にオンラインによる「バーチャル国際大会」が開催されます。本会議は日本時間で22:00～23:15です。自宅から国際大会に参加できる初めての機会です。ぜひ参加してみましよう。



久保忠正会員、「日薬有功賞」受賞おめでとうございます。

久保忠正会員が、日本薬剤師会の「日薬有功賞」を受賞されました。長年、薬剤師として活躍し、地域発展に貢献した人に贈られる栄誉です。久保会員は48年にわたり帯広市内で薬局を手掛けられました。例会が再開いたしましたら、改めてお祝いを申し上げます。

会務報告 (河西智子幹事)

● 5月28日(木) 13:30～ 於:北海道ホテル 臨時理事会

ガバナー補佐より

第6分区 ガバナー補佐 大友 広明

皆様、お元気にお過ごしでしょうか？

新型コロナウィルスの影響を受け、2月最終例会から中止となり、北海道緊急事態宣言から不要不急の外出が制限されました。経済活動に多大な影響が出ています。

そして3～5月の2ヵ月半ロータリー活動が止まり、3月17日に行うはずだった、ガバナー補佐の一大事業であります、IMを中止するという苦渋の決断をしました。

本年度のIMのテーマは「ロータリーの絆—私たちの目指すべきもの」として6分区11クラブの皆様へ発表する予定でした。その間、古田実行委員長はじめ部会長ならびに正副委員長、メンバー皆さんに多大なる時間を費やして準備を進めて頂きました。この場を借りて感謝申し上げます。

さて、北海道はまだ、非常事態宣言は解除されていません、それを受け帯広市も21日まで判断を延期になりました。非常事態宣言が解除されても新型コロナウィルスの感染の脅威はワクチンならびに薬が開発されるまで無くなりません。一人一人が、感染予防と不要不急の外出は控えて行かなければなりません。

皆様、一緒にがんばりましょう。



会長エレクトより

会長エレクト 佐々木 和彦

毎週お会いしていたのに、お目にかかれなくなってもうすぐ3ヶ月が過ぎようとしています。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。当クラブも2月27日より例会が中止となっておりますが、次年度の活動にしましても影響が続いております。

今までの経過を報告させていただきますと、2月29日に予定しておりました次年度RI第2500地区第6分区会長幹事研修会は集合研修中止となり、そのまま開催未定です。3月8日に会長エレクト研修セミナー(PETS)を予定していましたが、WEBを利用したZOOM会議となりました。

そして4月19日の富良野での2020-2021年度地区研修・協議会も集合会議は中止となり、参加予定の皆様には当日それぞれWEBでのZOOM会議に参加をいただきました。

4月22日の帯広5クラブ次年度会長幹事会は30分のみで開催で必要事項のみ確認となりました。また5月14日に予定していましたが次年度第1回クラブ協議会も集合せず、資料郵送での開催とさせていただきます。

感染防止のために今までもこれからも例のない対応になっていくと思われそうですが、その状況をしっかり捉えて帯広西RCらしく、フレキシブルに運営をしていきたいと考えておりますので、皆様のご協力とご理解を頂きますように深くお願いを申し上げます。



米山記念奨学生報告



米山記念奨学生 ワンロップ・アッチャラーパンさん

(愛称: ジューン)

皆さんこんにちは。私はジューンです。皆さんはお元気ですか。私は元気です。最近私は自分の実験をうまくやっているし、国際ジャーナルに論文を掲載するための原稿の準備もしています。一生懸命勉強して頑張ります。

米山記念奨学生カウンセラー 森 房明会員

4月より米山カウンセラーとしての2年目が始まり、ジューンには奨学金を手渡しすることしかできておりませんが、元気に勉学に励んでいるとのこと陰ながら安堵しております。

反面大いに気がかりなのは、今現在全く先の見通せない状況の中で次年度の事業計画立案に戸惑っているであろう委員長の皆さんのご苦労です。「三密の回避」が叫ばれる中、ともすれば社会活動における優先順位が後回しにされてしまうRC活動をいかに進めていくべきか？佐々木会長年度三役としても日々刻々と変わる状況に大変難しいかじ取りを強いられております。

そのような状況下、副会長として佐々木会長エレクトとの橋渡し役を務めさせていただきますので、次年度委員長の皆様とは色々相談しながらやっていきましょう！

それにしても「あーあ、早く正次郎で一杯やって、シャレードやカラオケで盛り上がりたいたいなあ!!」



直前会長
佐藤 聡会員

今回のコロナ危機は、全国的に働き方を含め産業構造の変化を余儀なくされた。十勝帯広は一次産業を基幹産業として成り立っている。全国的な市場が閉ざされた時に如何に生き残っていくべきか経済人として再考が必要である。並行して先ずやるべきことは、地産地消「地域のを地域で消費」の推進ではないだろうか。

私が関わっているチーズのみならず様々な生産物を購入し、また管外の人に紹介していくことが必ずや基幹産業の継続発展に寄与するものだと信じている。ひと・もの・かねを十勝に集め域内循環させることに是非ご協力いただきたい。



十勝プライド 十勝ラクレットモールウォッシュ
<https://tokachipride.theshop.jp/>

